

## 1. はじめに

平成15年8月26日午後8時20分頃、新潟市万代島にある朱鷺メッセ内の連絡デッキの一部が突然落下した。連絡デッキの通行が開始されてから2年4ヶ月あまり、全面開通してからわずか5ヶ月経過した後、特段の外力が作用していない状況での崩落である。この出来事が、直接の関係者のみならず新潟県民、さらに広範囲の関係者に与えた衝撃は大きいものがある。

施設設置者である新潟県は、事故直後の8月28日に、県庁内に朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故調査班を組織するとともに、9月1日に、事故の原因究明作業の透明性、客観性を確保するとともに、的確な原因究明とこれを踏まえた復旧方法の検討を行うため、第三者機関として朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故調査委員会を設置した。

事故調査委員会は、9月1日の事故現場調査を皮切りに活動を開始し、同施設の設計、施工に関わった関係者からヒアリングを行うなど鋭意原因究明に当たってきた。その中間的な報告として9月30日に経過報告書を取りまとめた。本報告書は、経過報告書を含め、事故調査委員会が実施してきた事故状況の分析や連絡デッキ崩壊過程の検討内容、事業体制上の問題点および提言等を取りまとめたものである。

本報告書では、以下の項目について報告している。

- 1) 万代島再開発事業立体駐車場連絡デッキ整備事業の概要  
事業、構造、工区、各工区の設計・工事監理・施工に関する情報
- 2) 朱鷺メッセ連絡デッキ事故工区に係る経緯  
設計、工事監理、施工の流れ
- 3) 事故の状況  
事故現場の調査結果、部材調査
- 4) 連絡デッキ崩壊過程の推定と検証  
崩壊過程の想定、施工段階および連絡デッキ落下の過程を追った立体解析、部材の耐力算定、崩壊過程の推定
- 5) 事業体制上の問題点  
設計、工事監理、施工、発注の問題点
- 6) 残りの連絡デッキの取扱い  
残存デッキ、入江側・アトリウム前連絡デッキの今後の取扱い
- 7) おわりに  
まとめ、提言

### 委員名簿

委員長 丸山 久一 (長岡技術科学大学副学長)  
委員 上之蘭 隆志 (国土交通省国土技術政策総合研究所建築災害対策研究官)  
委員 清宮 理 (早稲田大学教授)  
委員 長井 正嗣 (長岡技術科学大学教授)  
委員 森谷 俊美 (本州四国連絡橋公団長大橋技術センター上席調査役)  
(五十音順)

### 委員会開催経過一覧

平成15年9月 1日(月) 委員会設置、第1回委員会開催  
9月 6日(土) 第2回委員会開催  
9月13日(土) 第3回委員会開催  
9月21日(日) 第4回委員会開催  
10月 5日(日) 第5回委員会開催  
10月25日(土) 第6回委員会開催  
11月 7日(日) 第7回委員会開催  
11月23日(日) 第8回委員会開催  
12月21日(日) 第9回委員会開催  
平成16年1月16日(金) 第10回委員会開催